



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月8日 東

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所
 コード番号 3385 URL http://www.yakuodo.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西郷辰弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役財務部長（氏名） 小笠原康浩 (TEL) 019-697-8480
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	28,559	9.7	1,136	15.8	1,227	13.5	740	19.2
26年2月期第2四半期	26,034	6.3	981	0.1	1,082	0.7	621	△15.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第2四半期	112.57		—					
26年2月期第2四半期	108.87		—					

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	25,255	10,268	40.7
26年2月期	21,749	9,725	44.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 10,268百万円 26年2月期 9,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

- ・平成26年2月期の期末配当金の内訳は、普通配当50円、市場変更記念配当10円です。
- ・当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
- ・平成27年2月期の期末配当金の内訳は、普通配当25円、一部指定記念配当5円です。

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	8.6	1,807	2.0	2,006	3.5	886	△25.3	134.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- ・当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割が平成27年2月期の期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	6,580,400株	26年2月期	6,580,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	174株	26年2月期	174株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	6,580,226株	26年2月期2Q	5,706,700株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成26年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足説明	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策により緩やかな回復基調にある中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や消費マインドの低下がみられるなど、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社の営業基盤であります東北地方においては、各種政策の効果や復興需要を背景に景気が回復していくことが期待されるものの、小売各社の出店競争や価格競争は激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圈ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県に 2 店舗、秋田県に 1 店舗、宮城県に 5 店舗、山形県に 2 店舗の合計 10 店舗を新規出店いたしました。この結果、当第 2 四半期会計期間末の店舗数は 173 店舗（うち調剤併設型 4 店舗、調剤専門薬局 1 店舗）となりました。

以上の結果、当第 2 四半期累計期間における売上高は 285 億 5 千 9 百万円（前年同四半期比 9.7% 増）、営業利益は 11 億 3 千 6 百万円（前年同四半期比 15.8% 増）、経常利益は 12 億 2 千 7 百万円（前年同四半期比 13.5% 増）、四半期純利益は 7 億 4 千万円（前年同四半期比 19.2% 増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は健康食品やパップ薬等が伸張いたしました。衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張し、ベビー用品では紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比 4.3% 増加し、71 億 5 千 8 百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品はセルフ化粧品や男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比 6.3% 増加し、53 億 1 千万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤、家庭紙や台所用品等が伸張し、衣料品では軽衣料等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比 10.6% 増加し、34 億 4 千 8 百万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品は菓子、飲料、日配品等が伸張し、酒類では発泡酒、ビール等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比 14.3% 増加し、126 億 4 千 1 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期会計期間末の流動資産は 114 億 4 千 9 百万円となり、前事業年度末に比べ 23 億 5 千 8 百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が 11 億 9 千 7 百万円増加したと新規出店等に伴う商品の増加が 10 億 7 千 5 百万円あったことがあげられます。

固定資産は 138 億 5 百万円となり、前事業年度末に比べ 11 億 4 千 6 百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が 9 億 8 千 3 百万円あったことがあげられます。

流動負債は 114 億 3 千 6 百万円となり、前事業年度末に比べ 23 億 8 千 4 百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が 21 億 6 千 9 百万円増加したことがあげられます。

固定負債は 35 億 4 千 9 百万円となり、前事業年度末に比べ 5 億 7 千 7 百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規借入れにより長期借入金が 5 億 3 千 9 百万円増加したことがあげられます。

純資産合計は 102 億 6 千 8 百万円となり、前事業年度末に比べ 5 億 4 千 3 百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加が 5 億 4 千 3 百万円あったことがあげられます。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ11億9千7百万円増加し、16億1千8百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29億5百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。これは、税引前四半期純利益が12億2千6百万円となったことや仕入債務の増加が21億6千9百万円、たな卸資産の増加が10億7千3百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億3百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が14億4千1百万円あったことや敷金及び保証金の差入による支出が1億8千8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4百万円（前年同四半期は1億2千3百万円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入が15億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が7億8千2百万円あったこと、短期借入金の減少が5億円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成26年4月8日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期会計期間 (平成26年 8 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421	1,618
売掛金	166	214
商品	7,495	8,570
貯蔵品	5	4
その他	1,002	1,041
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,091	11,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,239	8,083
土地	686	686
その他 (純額)	883	1,023
有形固定資産合計	8,809	9,793
無形固定資産	228	239
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,675	2,778
その他	946	996
貸倒引当金	—	△2
投資その他の資産合計	3,621	3,772
固定資産合計	12,658	13,805
資産合計	21,749	25,255
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,775	7,945
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	1,277	1,455
未払法人税等	331	566
賞与引当金	271	368
ポイント引当金	20	32
災害損失引当金	53	—
圧縮未決算特別勘定	43	—
その他	779	1,068
流動負債合計	9,052	11,436
固定負債		
長期借入金	2,161	2,701
退職給付引当金	110	112
資産除去債務	482	528
その他	218	207
固定負債合計	2,972	3,549
負債合計	12,024	14,986

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,331	1,331
利益剰余金	7,313	7,856
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,724	10,268
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	9,725	10,268
負債純資産合計	21,749	25,255

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	26,034	28,559
売上原価	20,018	21,968
売上総利益	6,016	6,591
販売費及び一般管理費	5,034	5,454
営業利益	981	1,136
営業外収益		
受取利息	16	16
受取事務手数料	45	44
固定資産受贈益	25	18
その他	33	34
営業外収益合計	120	113
営業外費用		
支払利息	18	14
株式公開費用	—	6
その他	1	1
営業外費用合計	19	22
経常利益	1,082	1,227
特別利益		
補助金収入	44	—
圧縮未決算特別勘定戻入	—	43
特別利益合計	44	43
特別損失		
減損損失	—	4
賃貸借契約解約損	0	—
固定資産圧縮損	44	40
特別損失合計	44	44
税引前四半期純利益	1,081	1,226
法人税、住民税及び事業税	491	541
法人税等調整額	△31	△55
法人税等合計	460	485
四半期純利益	621	740

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,081	1,226
減価償却費	468	554
減損損失	—	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	72	97
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△8	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	2
受取利息及び受取配当金	△16	△16
支払利息	18	14
補助金収入	△44	—
固定資産圧縮損	44	40
賃貸借契約解約損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△38	△48
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,150	△1,073
未収入金の増減額(△は増加)	△208	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	2,504	2,169
未払金の増減額(△は減少)	190	155
未払消費税等の増減額(△は減少)	0	95
その他	93	△11
小計	2,999	3,224
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△18	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△496	△304
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,484	2,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,694	△1,441
敷金及び保証金の差入による支出	△71	△188
補助金の受取額	44	—
その他	△84	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,805	△1,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△500
長期借入れによる収入	1,200	1,500
長期借入金の返済による支出	△900	△782
リース債務の返済による支出	△25	△23
配当金の支払額	△142	△197
その他	△7	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	802	1,197
現金及び現金同等物の期首残高	999	421
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,801	1,618

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第2四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	5,046	23.8	5,206	22.6	+3.2
ビューティケア	3,992	18.9	4,254	18.5	+6.6
ホームケア	2,587	12.2	2,952	12.8	+14.1
コンビニエンスケア	9,541	45.1	10,631	46.1	+11.4
合 計	21,168	100.0	23,043	100.0	+8.9

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第2四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	6,864	26.3	7,158	25.1	+4.3
ビューティケア	4,994	19.2	5,310	18.6	+6.3
ホームケア	3,118	12.0	3,448	12.1	+10.6
コンビニエンスケア	11,057	42.5	12,641	44.2	+14.3
合 計	26,034	100.0	28,559	100.0	+9.7

ロ. 地域別販売実績

当第2四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青 森 県	3,011	11.6	3,219	11.3	+6.9
秋 田 県	2,590	9.9	2,878	10.1	+11.1
岩 手 県	13,236	50.8	13,952	48.8	+5.4
宮 城 県	6,653	25.6	7,565	26.5	+13.7
山 形 県	542	2.1	942	3.3	+73.8
合 計	26,034	100.0	28,559	100.0	+9.7